



東北大学

平成22年12月20日

報道機関 各位

東北大学大学院工学研究科

## 仙台市との連携・協力に関する協定を締結します

### <概要>

東北大学大学院工学研究科と仙台市は、それぞれが有する人的・知的資源の交流、活用を図りながら、地下鉄東西線沿線のまちづくりなど、市が進める施策の推進や、地域のさまざまな課題へ対応していくとともに、次代を担う人材育成にも寄与するよう、両者の連携・協力に関する協定を締結します。

### 記

1 日時 平成22年12月21日(火) 15:00～15:30

2 会場 仙台市役所本庁舎3階 第一応接室

3 出席者	仙台市	市長	奥山 恵美子 氏
		企画調整局長	山内 晃 氏
		経済局長	渡邊 晃 氏
	東北大学大学院工学研究科	科長	内山 勝
		教授	小野田 泰明 (都市・建築学専攻)
		准教授	本江 正茂 (都市・建築学専攻)

### 4 協定の内容

#### (1) 連携・協力内容

- ① 仙台市の施策推進や地域課題の解決に向けた人的・知的資源の活用
- ② 人材育成
- ③ その他必要な事項

#### (2) 協定期間

5年間(自動更新)

#### (3) 協定に基づく当面の展開

- ① 本協定に基づき、仙台市が進める各種の施策展開において、東北大学の持つ人的、知的資源を用い、より効果的な施策の推進につなげていくことを期待しています。
- ② 具体的には、東北大学大学院工学研究科(都市・建築学専攻)が本年11月に立ち上げた「せんだいスクール・オブ・デザイン(SSD)」と連携し、(仮称)国際センター駅周辺地区をはじめとする地下鉄東西線沿線まちづくりに、SSDの専門的知見や研究成果等を活かしていく考えです。

【参考：『せんだいスクール・オブ・デザイン（SSD）』について】

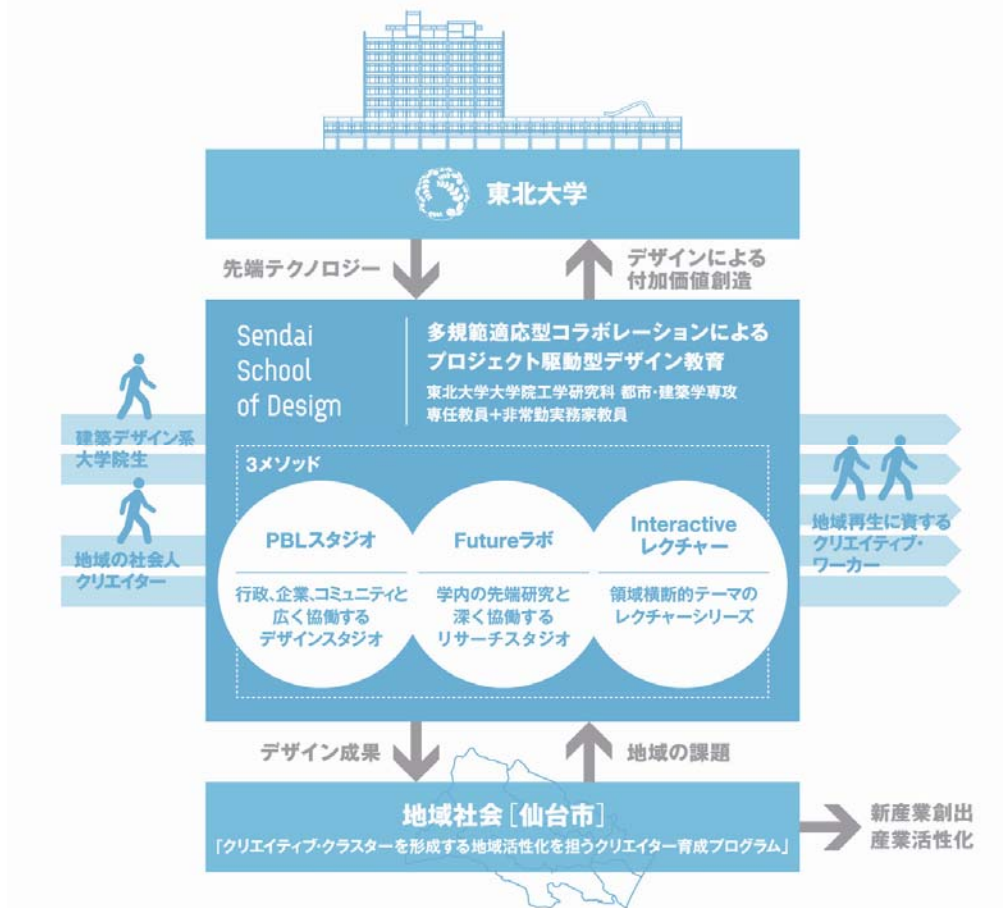
～地域のクリエイターと大学院生のコラボレーションによるプロジェクト駆動型デザイン教育～

出展：東北大学SSDホームページ

<http://sendai-school-of-design.jp/>

- 主 体：東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻  
(仙台市と連携し、文部科学省が運用を行う科学技術振興調整費のプログラム「地域再生人材創出拠点形成」の一環として実施)
- 目 的：地域の活性化を図りうる人材として、自らの専門領域のみならず、他のさまざまな領域の人間とのコラボレーションのできるクリエイターを養成すること。
- 受講者：建築デザインをはじめ、アーバンデザイン、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、映像、音楽、ICTシステム開発等、さまざまな領域のクリエイター及びそれを目指す大学院生。
- プログラム：社会人クリエイターと建築デザイン系大学院生が、地域の課題に基づいたプロジェクトに共同で参画し、さまざまな視点からデザインを行う、多様な領域の人材どうしの協働の場となり、プロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）\*を通じてまなびあう、実践的なプロジェクト駆動型デザイン教育。

《SSD事業スキーム図》



※ プロジェクト・ベースド・ラーニング（Project-Based Learning：PBL）  
地域のさまざまな課題に焦点をあて、その解決に向けたプロジェクトを進めていく過程を通して、  
実践的な課題解決能力を養っていく教育手法。少人数によるプロジェクト形式で進められる。

(お問い合わせ先)

せんだいスクール・オブ・デザイン事務局

担当：本江正茂、鎌田恵子

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-06

東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻内

TEL:022-795-4191 FAX:022-795-7853

Email:ssd@archi.tohoku.ac.jp